

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町2-1159番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 453

あさやけ作業所	小平市小川町2-1159番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町2-1159番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町1-943番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町1-411番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町1-944-30番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町2-21-17番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町5-2-11番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センター「あさやけ」	小平市小川東町4-2-1番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東1階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井7-2-24番地	TEL 042-349-0305
あさやけ鷹の作業所	小平市中島町3-8番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町1-497-13番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町5-2-12-1番地	TEL 042-313-2217



長瀬ライン下り

あさやけ作業所

秩父、長瀬、川越とはじめての埼玉県への旅行でした。天気予報では三日間雨が降る予報でしたが、ほとんど雨に降られることなく、メインのライン下りも無事できました。

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



採便管の袋詰めをがんばっています

菊池 豊さん

(あさやけ風の作業所)



菊池豊さんは、平成二十四年三月まであさやけ作業所で仲間と共に働いていました。その後、数年の期間他の場所でも活動をされた後に、再びあさやけ風の作業所に仲間として戻ってきました。馴染みのある仲間や職員からは「菊池君久しぶりだね」と歓迎の声をもらい笑顔で嬉しそうにこたえていました。

菊池さんのお仕事は、主に採便管の袋詰めを行っています。日本の作業が終わりに近づくと嬉しそうに声を出して職員にそのことを伝えてくれます。また、不定期ですがダイレクトメールを折る作業もおこなっています。積極的な菊池さんはダイレクトメールを見て自分もやりますと自ら申し出てくれました。職員と共に折る作業をがんばってくれています。

菊池さんのお仕事は、主に採便管の袋詰めを行っています。日本の作業が終わりに近づくと嬉しそうに声を出して職員にそのことを伝えてくれます。また、不定期ですがダイレクトメールを折る作業もおこなっています。積極的な菊池さんはダイレクトメールを見て自分もやりますと自ら申し出てくれました。職員と共に折る作業をがんばってくれています。

菊池さんのお仕事は、主に採便管の袋詰めを行っています。日本の作業が終わりに近づくと嬉しそうに声を出して職員にそのことを伝えてくれます。また、不定期ですがダイレクトメールを折る作業もおこなっています。積極的な菊池さんはダイレクトメールを見て自分もやりますと自ら申し出てくれました。職員と共に折る作業をがんばってくれています。

さあ、いよいよ毎年恒例のKODAIRAわいわいバザールが十月八日(日)と九日(月・祝日)の二日間、小平特別支援学校にて行われます。

名称をKODAIRAわいわいバザールに変更してから十三回目、その前身である「あさやけバザール」から四十五回目のバザールとなります。

会場には、多くの皆様から提供していただいた衣料用品、古本、おもちゃ…などが、掘り出し物があるかもしれません。また、障害のある仲間が作った美味しいもの、実用的なもの、楽しい物などがたくさん揃えてある各作業所の「なかまの店」も並びます。その他福祉関係団体の模擬店も多数出店します。

また、東京オリンピック・パラリンピックが三年後に開催されますが、皆様は、パラリンピックの正式種目である「ボッチャ」という競技をご存知でしょうか？会場内に体験コーナーを設けておりますので、この機会にぜひ体験してみてください。

今回、バザール実行委員長を努めさせていただく私は、

わいわいバザールが始まりますよ！
ご家族みんなで来てください

第十三回KODAIRAわいわいバザール

実行委員長 小林 雅仁

あさやけに勤めて十八年になる職員です。バザールと言えば、バザール品を毎年のように提供して下さる方々、ボランティアとしてお手伝いして下さる方々、お客さんとして参加して下さる方々の存在があつてのバザールである事は言うまでもありません。この十八年の間に、知り合いになった多くのボランティアさんやお客様がいます。今年もまた皆様とお会いできるかと思うと、うれしくなります。準備で忙しい毎日ですが、バザール当日に「私も元気だったよ、あなたも元気そうで何よりだね」と言われている情景を思い浮かべながら、バザール実行委員会の皆で力を合わせて、頑張っていきたいと思います。ぜひ、今年もわいわいバザールへお越し下さい。

澄み渡る晴天であることを祈りましょう！

なお、提供品の受付を九月二十五日(月)十六時までに行っています。受付専用ダイヤル080-15642118-295で、月々金曜日の午前十時～十二時、午後二時～四時受け付けています。回収地域は小平市内になります。



バーベキュー

サマースクールの三日目は恒例になっている川遊びとバーベキューです。毎年お世話になっている飯能名栗川のキャンプ場に行き、楽しみました。今年は珍しく気温が低く、涼しい中での活動になりました。バーベキューでお肉や野菜や焼きそばをおなかいっぱい食べ、川に入り遊びました。この日は水も冷たく、さすがに寒かったようで、みなさん短時間で川から上がり、河原でたき火にあたるという八月の光景とは思えないようなものを見ることができました。そんな中でもそれぞれが充実した時間を過ごすことができました。みんな大満足で帰ってきました。

○川遊び・バーベキュー



オブジェ

あさやけ作業所では今年度も七月二十九日(月)から八月四日(金)の五日間、地域の社会資源として作業所を開放し、障がいのある中学生、高校生二十一名を対象にサマースクールの取り組みを行いました。特別支援学校・特別支援学級の先生方、ボランティアの方々に介護体験実習の学生といっしょにあさやけ作業所の仕事体験やレクリエーションなどをして過ごしました。天候にも恵まれ、怪我や事故もなく、全員が楽しく貴重な時間を過ごすことができました。

○はじめに

今年初めての取り組みとして、小平市社会福祉協議会あおぞら福祉センターの職員さんが講師としていらして下さり、ポッチャ体験を行いました。初めてポッチャをやったという人も多くおり、ポ

○ポッチャ

今年も小平特別支援学校さんをお借りして行いました。プールは泳いだり、潜ったり、飛び込んだり、浮き具の上に乗ったりとそれぞれが自由に好きなことをして楽しんでいました。太鼓は音楽室の中で講師の先生にご指導をいただきながらいろいろなリズムや他の人と合わせて叩いたり楽しく行う事ができました。

○プール・太鼓

第36回 あさやけサマースクール

おもいっきり
遊び！働き！創った！
サマースクール
楽しかったよ！



今年も武蔵野美術大学の学生さんが実習として十二名参加しました。六名ずつの二班に分かれて創作活動を企画し、生徒さんといっしょに取り組みました。
一 班は「家ランタンをつくらう」

○創作活動

仕事体験は紙すき班、下請け班、縫製班、製菓班の四グループに分かれて行いました。紙すき班は水に溶かしたパルプを大きな水槽からすきあげて紙にする作業を行い、下請け班はお店で販売される調理器具の検品とラッピングの作業、縫製班では台所用ふきんづくり、製菓班ではシフォンケーキづくりを行いました。

○仕事体験

↓五日間あつという間でした。こんなに濃密な実習は他にないと思います。実習の場があさやけサマースクールで本当に良かったです。
↓ラーメン体操楽しいです。毎年みんなの笑顔がたくさん見られて幸せです。
(教員)

○参加スタッフの声

サマースクール期間中に参加していただいたスタッフの方の感想をいくつか紹介させていただきます。



楽しむ生徒

ルのずっしり感に驚いていました。「またやりたい」という声も多く聞かれました。

○おわりに

今年も期間中に参加生徒さんたちの喜ぶ顔や楽しんでいる姿をたくさん見ることができました。これは四月からコツコツと準備してきた実行委員会にとって何よりも嬉しいことです。
三十六年間続くこのサマースクールは参加の生徒さんやその親御さんからの感謝や期待の声を毎年多くいただいております。そのような地域貢献の場を提供できることやそこに関わることができていることに、職員としてやりがいを感じることが出来ます。今後もあさやけ作業所が大切にしてきた「地域とのつながり」をしっかり守っていきたいと思います。
最後になりましたが、今年もたくさん先生、ボランティア、学生、他事業所の方々にご協力をいただき、充実した場を生徒さんたちに提供することができました。と、深く御礼申し上げます。

第三十六回実行委員長
あさやけ作業所 石毛 慎一

どちらの企画も四月の段階から何度も話し合い、しつかり準備をして当日に臨んでくれました。参加の生徒さんと楽しみながらいつしよに取り上げていく形式で、進行の段取りもうまく計算されていました。
毎年、介護体験実習で学生さんがたくさん参加してくれています。今年も情熱も持った素敵な学生さんたちばかりで嬉しく思いました。

二班は「桃太郎と大冒険すごろく」という企画名で「みんなであつて遊ぶ楽しさを再発見してほしい」と、駒やすごろく版を自分たちでつくり、それを使ってみんなであつて遊ぶというものでした。サイコロを振ってみんなであつてわいわい楽しそうでした。



すごろく



ランタン

あさやけ鷹の台作業所の平野君の作品が 2018年はたらくなかまのうたカレンダーになります！ きょうされんグッズコンクール入賞

第9回きょうされんグッズコンクールにおいて、あさやけ鷹の台作業所の平野凌介さんの作品が入賞をしました。鷹の台作業所からは昨年の内倉さんに続いて2年連続となります。また、その他に鈴木慎一さん、眞保栄孝子さん、内倉健介さんの作品が入選となり、日頃のサークル活動の成果がこのような形で実ることは大変うれしいことです。平野さんは9月15日、16日のきょうされん北海道大会に参加し、直接表彰を受けることとなります。作品は平成30年の壁掛けカレンダー4月の作品として掲載されます。あさやけの冬の物品販売でも販売いたしますので、皆さんぜひお手に取ってご覧ください。では、平野さんよりメッセージをいただいたので、ご紹介します。



ぼくは絵を描くことも観賞することも好きです。油絵を描くことが多いです。今回出展した作品は、関東地方を走る主要な電車の路線図をイメージして油絵を描きました。黄緑は山手線、オレンジは中央線、黄色は総武線など首都圏を走る電車のカラーを表現しました。北海道大会に行くことができ、とてもうれしいです。これからもたくさん絵を描いていきたいです。

あさやけ鷹の台作業所 平野凌介



「電車の地図 (首都圏版)」



就労移行支援事業の紹介 就職したいという希望を受けとめて サングリーン



就労移行支援事業は「概ね2年間で就労をめざすことを希望する利用者を就労実現に向けて支援する」事業である。

サングリーンでは2012年1月に就労移行支援事業をスタートしてからこれまでに14名の方が就労した。8名の方が現在も継続し2名がB型事業に戻り体調を整えている状況にある。

定員に満たないと事業所の運営費が少なくなってしまうという仕組みなので、常に「定員」を満たしていることが運営を続けていくうえで重要な課題となっている。

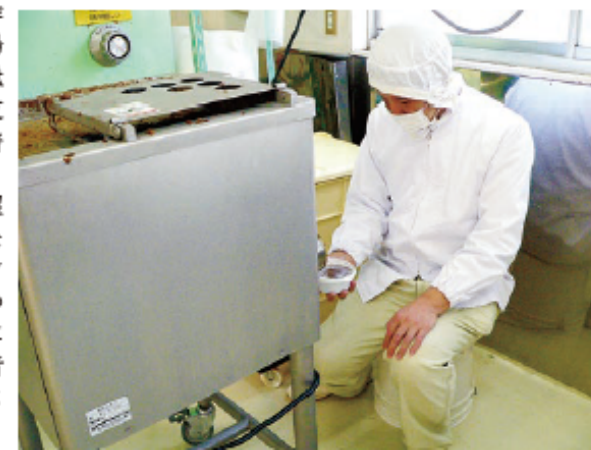
「就職したいという希望はある」が年齢や障害の状況などによってなかなか一歩踏み出す勇気が持てない利用者も多くいるのが実情。そのような中でこれまで様々な方々が就職をしていく姿に刺激を受けて就職を希望する方もいて、現在サングリーンでは50代後半の利用者が2名、40代後半2名、40代前半1名の登録となっている。比較的年齢の高い方々は「自分にあった就職口があるか」ということが一番大きな不安でサングリーンに対する支援の内容も「自分にあった職場を探して欲しい」というものである。

日々の作業では調理作業・縫製作業・石鹸製造・受注作業など「現業作業」が中心となっている。パソコンを使った事務の仕事希望している方がいたこともあり、昨年度タイムカードのデータ打ち込みと顧客情報の打ち込みを実施した。今後も、実務に結びついた形の作業・訓練を掘り起こしていけると良いと考えている。

本人との振り返り、評価については、昨年度から障害者職業センター情報提供シートを基にした「評価書」を活用している。日々の作業活動を通して得られる「評価結果」により利用者の抱えている課題を明らかにすることで、その項目について改善や成長を求めるのではなく、そうした傾向にある方にどのような支援があれば就労が可能かを見極め利用者がそうした自分を受け入れる・受け止めるようになることが評価書を活用している大きな目的である。

他には履歴書や職務経歴書の作成、また関連機関を活用して「職場体験実習」なども実施。実際の求職活動では面接同行や職場訪問との支援も行っている。また就労後の定着支援にも力を入れている。

サングリーンでは利用者が一番望んでいる「就職先の斡旋」はできないのでハローワークや就労支援センターなどの他機関との連携を強め情報の提供の強化を図るとともに「日々の作業の充実」をはかり利用者が自信を持って求職活動に望めるような活動を常に目指している。



石鹸作業の様子 (充填作業)

主催：KODAIRAわいわいバザール実行委員会 後援：小平市・小平市社会福祉協議会
 協賛：小平手をつなぐ親の会・小平肢体不自由児者父母の会
 協賛品提供：有楽製菓

私たちは障がいのある人たちが働き生活できる地域をめざしています。

第13回 2017
KODAIRA わいわいバザール



日時：10月8日(日) 11:00~16:00
 10月9日(月・祝) 10:00~14:00
 会場：都立小平特別支援学校
 (西武園分寺線・舞鳥線 小川駅西口より徒歩5分)
 お車でのご来場はできません



- > 小平特別支援学校によるポッチャ体験コーナーあります！
- > 小平市内、近隣障害者施設による模擬店、あさやけバザール、製品販売
- > 会場内でスタンプラリーもあります
スタンプ集めて景品をゲット

※小平特別支援学校へのお問い合わせはできません

KODAIRAわいわいバザール実行委員会(あさやけ風の作業所内)
 TEL 080-9153-3800 〒187-0033小平市中島町3-8



廃品回収のお知らせ

7月の廃品回収の回収量は10,405kgでした。内訳は新聞7,825kg、雑誌・ダンボール2,580kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて175,930円でした。

次回は10月21日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。